

## 伸びた学習法の実例(3)

2024. 1. 27 (土)

### フロローグ

目標の大学・高校に合格した人たちが数専ゼミで実際に学習した方法を紹介しましょう。

中学生の場合、山形東、西高に合格した人たち

あるいは、ICU(国際基督教高等学校)や澁谷幕張高校に合格した人たち

また、高校生の場合、東北大(医学部, 経済学部, 文学部), 自治医科大学(医学科),

昭和大学(歯学部), 山形大学(医学部)に合格した人たち

### もくじ

「伸びた学習法の実例」について、次の3つの項目で紹介します。

- |                                 |                       |
|---------------------------------|-----------------------|
| (1) 数専ゼミでは、何を教えてもらえるのか          | → Essay_621           |
| (2) 数専ゼミでは、どのように教えてもらえるのか       | → Essay_622           |
| (3) 「テスト対策」についてーとりわけテスト後対策についてー | → <b>Essay_623 今回</b> |



## (3) 「テスト対策」について ーとりわけテスト後対策についてー

### 1 テスト対策

「学習記録」のテスト範囲の部分を点検します。

① 「×」が3個ついている問題について…

一切の資料を見ないで解いてみます。

解けなかった問題については、資料を見なくとも解けるようになるまで練習します。

紙に答案を正しい手順で書きながら覚える、というのが効果を出す原則的な学習方法です。

②次に、「×」が2個ついている問題についても同様な学習をします。

③余裕があれば、「×」た1個ついている問題も同様です。

### 2 テストでは…

- ・「学習した問題」については100%正解できることが目標です。

- ・「学習してない問題」が出題されたら、「学習記録」の学習項目を思い出し、その中から、類似のタイプの問題を選び、その解き方で解いてみます。

### 3 テスト後対策

「解けなかった問題」は、答案用紙が返還されてから「テスト後対策学習」をします。これをやりきると、その時点で、テストで100点取ったのと同じ学力水準に到達できます。**テストの目標**は、何点とったかではなく、100点をとれる学力に到達したかどうかです。

具体的には、「まちがいノート」を作ります。

つまり、間違えた問題を、単元と日付を書いて、ルーズリーフノートに写し、いつ見ても「解き方」を思い出せるような解答を書きおきます。

問題を表に、解答を裏に書きます。

次に、問題を見て、計算用紙を使って「正しい答案」を練習をします。

裏の解答と同じ答案が書けるようになるまで、繰り返し練習をします。

練習した日付を表の問題の下に記録しておきます。

課題テスト、校外模試、実力テストなどの前に、この「まちがいノート」を復習すると短時間の勉強で高い点数が取れます。

テストの点数に一喜一憂しても何の役にもたちません。

必要なことは、今、同じテストを受けたら100点が取れる学力にしておくことです。

そのためには、テスト後対策学習をきちんとやることです。

これは、テスト前の勉強よりも数倍学力を高めます。

## 《超重要補足説明》★★★

### テスト後対策

#### －テスト後にはテストで100点を取ったのと同じ学力にする－

学校のテストや模試の答案は、受験対策の最高のツールです。

それは到達すべきレベルとそこまでの自分の到達点を示しています。

だから、それは、今、自分が何を学ぶべきかを具体的に教えてくれます。

テスト（学校のテスト、校外模試など）が終わったら、間違えた問題の「まちがいノート」を作ります。

これを解けるようになるまで練習をします。（「3 テスト後対策」を参照）

全問題が解けるようになったとき、学力はこのテストで100点を取ったのと同じレベルになっているはずで

## 学力化のための資料のファイリング

そのために、「テスト答案」は実施日順にファイリングします。  
その「テスト答案」の直後には自分で作った正解を差し込んでおきます。  
後で読んでも分かるようにするためです。  
また、その問題を解くのに必要な類題や資料も差し込んでおきます。  
これは、範囲のないテストでは、テスト対策資料として使える「自分だけの参考書」です。

このように、いろいろな資料を差し込み、自分だけの参考書を作りますので、  
簡単に資料の出し入れができる「リングファイル」にファイリングして下さい。

このようなデータベースを作成することは、同時に知識を整理しながら頭に入れる作業でもある  
のです。

「データベース」とは、必要に応じていつでも引き出せる知識の体系のことです。  
だから、数学の応用力は、このようなデータベースを作成する作業を通して形成されます。

## ”勝つ”ための戦略的学習ができる数専ゼミの数学教室です！

### 数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)

数専ゼミは、  
ひとりひとりに細かいゆき届いた指導をすることができるように、総定員が20名ほどの学習塾  
です。  
このスタンスで**創業52年目**の春を迎えます。